

ご協力ありがとうございます！

(敬称略)

新入会：中野 源太、立川 綾
社会福祉法人秀和会脇山保育園、
☆新入会、随時募集中です！！

寄付金：(株)大分銀行、(社福)楽天堂恵風苑、
JR九州コンサルタンツ(株)、JR九州労組

鬼木大明神 今月の一句

友人は最大の財産であり

真の友人は最も得がたい財産である

友人のように話そう！

友人のように接し続けよう！

さすれば友人になれる。

望みの高い友人を持とう！

人は、友人の望み通りの人になっていくものだ。

真の友人はもう一人の私なのだ！！



センターの仲間がどんどんふえる

今年度は研修生の数が多いです。毎日賑やかになりました。そして、ウサギの数も多くなりました。赤ちゃんウサギがたくさん生まれました。とてもかわいいです。色の違いがあります。黒や茶色や白などです。多くなったから餌もすぐ無くなります。うちのウサギはベジタリアンです。餌は人参だけではなく草や大根や野菜等です。ムシャムシャする様子がとてもかわいいです。いつも餌を毎回毎回あげたくになります。センターの研修生達もウサギを可愛がっています。皆さん、可愛いウサギたくさんいますので是非見に来てください。里親大募集中！！(リナ)



5月の予定

- 4日(金) どんたく出演
- 9日(水) 田植え開始
- 10日(木) 佐賀県推進協議会幹事会
- 12日(土) 海外研修生入所式
- 13日(日) 佐賀玉屋バザー、九電イベント
- 15日(火) 表敬訪問(市、区、MUFG)
- 16日(水) 表敬訪問(県)
- 17日(木) 北九州推進協議会ミンダナオツアー(～20日)
- 19日(土) 第12回 福岡県景観大会参加
- 20日(日) 脇山走ろう会、茶摘み大会
- 23日(水) 熊本ボランティア
- 25日(金) 朝倉ボランティア(予定)
- 30日(水) アトリエ木下撮影・交流

マレーシア研修生 OB 来所

4月20日(金)にマレーシアより研修生OBのイブラヒム氏が西日本研修センターを訪問してくれました。彼は44年前(昭和49年)にマラ公団より30人派遣された中の一人で3名が福岡に配属され、西日本鉄道株式会社福岡工場(福岡・宇美町)で2年間自動車整備の研修を受けられました。帰国後はクアラルンプールで自動車整備工場と重機のレンタル業を営まれておられました。

今回は奥さんの里帰りも兼ね

家族10人で福岡に来られ、当日は友池相談役に面会を頂き研修生にも激励をしていただきました。また当時研修を受けた旧研修センターの跡地(西区姪浜)を訪問され、当時過ごした思い出を懐かしく街の様子を写真に収められていました。

ご訪問ありがとうございました。(漢川)



平成30年度 国際協力ボランティア

今年度は2名の国際協力ボランティアが1ヶ月間西日本研修センターで研修することになりましたので紹介したいと思います。(園田)

(園田)

中川 春希さん 埼玉県出身(左)
オイスカ西日本研修センターでの活動は新しい経験も多く、私にとっても刺激的です。研修生と共に私自身も成長できるように頑張りたいと思います。



倉本 有沙さん 山口県出身(右)
西日本研修センターは1カ月程と短い期間ですが、何事も全力で挑戦して、一つでも多くのことを身につけたいと思います。宜しくお願いします。

まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 **オイスカ西日本**

第 656 号

平成 30 年 5 月号付録



←Facebook と Instagram に日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！



新研修生入所

今年度もいよいよ新しい研修生が入国しました。三菱 UFJ フィナンシャル・グループ様のご支援による10名とオイスカベースの4名の14名の農業研修生と1名の家政研修生、9カ国1地域、15名の研修生です。4月4日にそれぞれ成田・福岡空港に到着し6日にセンターで全員が顔をそろえました。

入国の前日まできれいに咲きほこっていた桜も、研修生の到着前に春のあらしのような天気ですほとんど散ってしまい残念ながら研修生たちが桜を見ることができませんでした。今年は例年より研修生の数も少し多く、国の数も多くなり国旗掲揚用のポールもいっぱいになりました。まだ、去年の研修生の余韻も少し残る中、今年も新たな研修生と一緒に汗を流しながら、1年間の研修を行っていきます。

まずは、日本語を一生懸命に勉強してもらい早く日本、福岡の生活に慣れてもらい充実した1年にしていきたいです。(彦坂)



第14回オイスカ西日本支部運営委員会

4月26日、九州電力本社にて運営委員会が開催されました。運営委員企業9社より各委員が揃い、平成29年度事業報告・決算(案)を審議頂き、51年目の活動にふさわしい内容を検討いただきました。特に、オイスカ会員の獲得並びに農産物生産物の流通促進が主な議題となり、各社含め多くの方々に協力を依頼することになりました。今回の運営委員会で討議された内容を7月に予定されている西日本支部幹事会で報告することとなります。オイスカ賛助会員の皆様、本年度もオイスカは農業を心とする人材育成と地域貢献に励んでいます。引き続き応援よろしくお願いいたします。(廣瀬)



技能実習生先のご紹介

【アイ・アイ・ディ牧場】

大分県日田市大字花月 4009-81
☎ 0973-24-9981

大分県日田市にある「アイ・アイ・ディ牧場」は昭和 59 年に 10 頭の乳牛と共に福岡の糸島から日田市の酪農団地に移ってこられました。日田市は標高 1000 メートル前後の山々に囲まれた盆地にあり昔から林業の盛んな地域で近年は大分県を代表する生乳生産地として知られています。

平成 11 年には酪農団地の近くに広い土地を得て新しい牛舎を建設して現在は成牛、育成牛併せて300頭近くを飼育されています。また 7 年前からは 6 次産業化に取り組み日田ブランドの牛乳を作ろうとホルスタイン種に加えブラウンスイスの乳牛を飼い、搾った牛乳でアイスクリームの販売をはじめられました。これまでにアイ・アイ・ディ牧場ではマレーシア、インドネシア、タイ、バングラデシュ、フィリピン、モンゴルからの研修生、実習生合わせて 20 数名を受け入れられ、現在は 3 名の技能実習生が実習中です。実習生達も今では家族の一員としてしっかりと実習に励んでおり、山下社長夫妻も実習生達がここで学んだことを生かして将来頑張ってくれるようにと日々ご指導をいただいています。(満川)



牛舎での記念撮影

モンゴル実習生 ザヤ
山下社長夫妻
フィリピン実習生 ショー
インドネシア実習生 ルスディ

有アイ・アイ・ディ

●牧場周辺の宅地化に伴い、34年前に福岡県糸島市から大分県日田市に移住し経営規模の拡大を図ってきました。代表：山下繁文、取締役：山下眞弓。現在、長男夫婦とともに搾乳牛約270頭、育成牛約75頭を飼養。約45頭がブラウンスイス種。牧場名は、牛の冠名のイト・アイランド・デイリーの頭文字から名付けられました。

〒877-1221 大分県日田市大字花月4009-81
TEL:0973-24-9981 FAX:0973-24-9975
HP: www.iid-hita.co.jp



アイ・アイ・ディ牧場製造アイスクリーム



アイ・アイ・ディ牧場

体験農園だより

3月から新たに春夏野菜の栽培が始まり、4月21日(土)夏野菜の定植作業を大勢の会員の方に出席して頂いて賑やかに実施しました。トマトやナス、ピーマンなど7種類の野菜の植え付けや種まきを行いました。ベテランの参加者も多く、皆さん慣れた手つきで作業を行っていました。

作業をしながら会員の皆さんからは「去年はゴーヤがものすごい採れて近所にいっぱい配ったよ」とか、「スイカがぜんぜんだめだったもんね」など過去の収穫状況を説明してくれます。

数年前には、ピーマンが採れすぎて「ピーマン地獄」と言われたことがあります。今年も〇〇地獄と言わせることが出来るように管理をしっかりしていきます。(豊田)



朝倉農業ボランティア

4月20日(金)、朝倉農業ボランティアセンターの実施する被災された農家さんへのボランティア活動に、室町ケミカル新入社員5名と新研修生5名と一緒に参加しました。当日は、大分県日田市の県境の近くにある農家さんの畑に入った土砂出しの作業を行いました。午前中は200㎡ほどの畑に入り込んだ土砂をスコップと一輪車で取り除く作業を行い、午後からはミカン園に入った土砂を取り除きました。ちょうどその日の天候が日田市で30度を超える真夏日を観測しており、暑い日差しが照り付ける中、いい汗をかきながらみんなで一生懸命作業に取り組みました。園主のお母さんからも本当に喜ばれて、「これで今年もショウガを植えることが出来る」と早速ショウガの種を買いに行く予定を立てていました。(豊田)



朝倉農業ボランティア畑の土砂出し作業

桜島植林地草刈り

4月2日(月)、センタースタッフ、OB研修生9名で桜島にあるオイスカ植林地の草刈り作業に行ってきました。植林地の面積は1haで、12年前に植えた檜の木はすでに4メートルほどの高さに成長しています。木の成長とともに以前と比べると草刈りの作業もだいぶ楽になり、2時間ほどで草刈り作業が終了し、木に巻き付いたカズラのツルを取り除く作業を含め、3時間で全ての作業を終了しました。数日前から降り積もった火山灰で作業中は灰が目に入ったり真っ黒になりながら大変でしたが、成長した木々を眺めると誇らしい気持ちでいっぱいになりました。帰りがけには桜島は噴煙を空高くあげて、私たちを見送ってくれました。(豊田)



桜島植林地草刈り灰まみれになりました

第13回鳥がさえずる緑の回廊植樹祭

第13回鳥がさえずる緑の回廊植樹祭が3月24日に北九州市若松区響灘埋立地で行われました。当日は地元企業・団体・市民含め1600名が参加して5500本のかしの木等の苗を植えました。オイスカ北九州推進協議会から三原先生はじめ会員さん5名にご参加いただき、研修センターの研修生も参加して植林を行いました。今年の植樹祭は環境都市北九州市市制55年を記念して街づくり運動として行われ毎年参加をしています。(満川)

